



100 周年に向けてのキャッチフレーズ



## 暗がりを照らす聖ばらのように ～百年の煌めき～

このキャッチフレーズは、戦争やコロナなどの逆境を乗り越え、希望の光を放ち続ける私たちの姿勢を表現しています。野ばらの花言葉「痛手からの回復」にあるように「野ばら」は、暗い場所でも静かに咲き続け、新たな希望を取り戻す力強さの象徴でもあります。「百年の煌めき」の言葉のように、間もなく百年を迎える日立二高が、これから先も、未来に向かって希望を持ち、輝き続けたいという強い意志を表現したものです。

3 年 出口 温子さん（日立市立台原中学校出身）



前期生徒会役員選挙 R7.05.28

今年度前期生徒会役員が決まりました



この度、前期生徒会長を務めます高崎こまちです。本校は、創立から100年という節目を目前に控えています。長い歴史の中で築かれてきた伝統と、多くの先輩方に敬意を抱くとともに、これからの時代を担っていく責任も感じています。今年度はバレー部が関東大会に出場するなど、生徒の挑戦が実を結ぶ場面が増えています。私は、生徒一人ひとりが自分の力を発揮し、やりたいことに対して前向きに挑戦できる学校環境を目指してまいります。そのために、日々の小さな声にも耳を傾け、生徒の想いが届く、温かく活気のある生徒会づくりをしていきたいと考えています。生徒や学校などとのつながりを大切にしながら、生徒会としての活動に全力で取り組みます。どうぞ、よろしくお願い致します。

3 年 高崎 こまち さん（日立市立十王中学校出身）



バレーボール部関東大会出場 R7.05.30～06.01

関東県予選ベスト4となり関東大会出場！

【壮行会の様子】



【大会会場で集合写真】



昨年度のベスト8からベスト4に進出し、関東大会への出場を決めることができ本当に嬉しいです。これまで積み重ねてきた練習の成果が形になり、仲間と共に戦い抜いた結果が報われた瞬間でした。試合中の一体感や、苦しい場面で支えあった絆があったからこそ、ここまでくることができたと思います。

関東大会では、レベルの高い相手と戦うこととなりましたが、自分達らしいプレーを貫き、悔いのない戦いをすることができました。

3 年 小野 実美 さん（北茨城市立中郷中学校出身）



進路ガイダンス（3 年面接） R7.06.02

面接の仕方や礼儀について学びました



揮できるように頑張りたいです。

私は進路ガイダンスを受講して、面接の際に役に立つ情報を知ることができました。面接では身だしなみはもちろん、言葉遣いや態度など細かいところを見られるので、その一つひとつに気を付けて本番に臨みたいと思いました。特に気を付けたいと思った点は言葉遣いで、「失礼します」を「失礼いたします」に変えるだけでも印象が良くなり、そこに「分離礼」を取り入れることで、さらに良い印象を与えることができることを知りました。集団面接の場合だと、周りに差をつけられるチャンスになると思いました。ガイダンスで教えていただいたことを生かし、本番でその成果を発揮できるように頑張りたいです。

3 年 菊地 想菜 さん（日立市立日高中学校出身）



防災通報訓練 R7.05.29

地震等が起きた際の避難訓練



教育実習 R7.05.26～06.06

教育実習生にお世話になりました



【実習生からのコメント】

5 月 26 日から 2 週間、教育実習をさせていただきました。文教大学4年の臼杵康葉です。実習期間中は、2 年生の皆さんと「情報」の授業を中心に関わらせていただきました。授業や関わりの中で迷うこともありましたが、生徒の皆さんの飾らない姿に救われる場面も多く、日々前向きに取り組むことができました。授業の難しさ、生徒との関わり方の奥深さ、そして学校という場の温かさを実感する毎日で、「教えること」「育てること」の責任とやりがいを感じました。

この実習で得た学びを大切に、これからも自分の進路と向き合っていきたいと思っています。短い間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

教育実習生 臼杵 康葉 先生



施設訪問 I R7.06.11

病院の仕事や設備について知ろう



気持ちや、コミュニケーションによって患者さんの体調をサポートすることも大切だということを学びました。

私は、日立総合病院を訪問し、看護・医療・福祉に関する講演を聞いて、命と向き合う仕事の重さと大切さを改めて感じることができました。施設と一緒に周ってくださった看護師の方の、患者さんとの関わり方を実際に見せていただき、患者さんが辛い時でも前向きに支える姿が深く印象に残りました。医療の現場では、技術だけではなく、人を思いやる

2 年 佐藤 美鈴 さん（日立市立十王中学校出身）